



平成 26 年 7 月 17 日  
 第 6 号 (夏号)  
 南つくし野小学校  
 南つく蝶プロジェクト  
 代表 河野哲也

自然への渴望 (教育の中で占める自然環境の大切さ)

河野哲也

メダカ池での観察・採集会、東工大加藤山での観察・採集会は、予想を超える参加者数となりました。子供達一人一人のドキドキ、ワクワク感が伝わってまいります。計画を実行して頂いた蝶プロジェクトのメンバーにとっても大変嬉しいことでありました。

しかし、このことを通して、私達は子供達の自然への渴望の如何に大きいかを学び、今日の限られた自然環境の中で彼らの健康な欲求に如何に答えてゆくべきかを立ち止まって考えることの大切さを知ります。子供達の中にある狩猟や採集をしようとする本能は、脳の進化の過程で培われた人間の情動活動の基礎であります。自然の中で可能となるこの本能の発現は、成長する子の健康な脳の発達にはなくてはならないことでもあります。現代社会の事件の多くは、健康な脳の発達の阻害と無縁ではありません。豊かであった自然からの乖離がもたらした結果であります。

南つく小の「蝶プロジェクト」の目標は、蝶を介して自然に回帰することにあります。蝶の舞う環境作りを児童、先生、ご両親、地元の方々と工夫・実践することの意義は大きいと考えます。皆様からのご提案をお待ちしています。

じゅえき あつ むし つよ だれ  
**樹液に集まる虫。強いのは誰？**

強い ← → 弱い

- カブトムシ**  
 長いつので相手をひっくり返すよ。昆虫の王様。【夜行性】
- ノゴリクワガタ**  
 のこぎりのような、大きなあごを持つよ。【夜行性】
- オオスズメバチ**  
 世界最大のスズメバチ。攻撃性も強く、カブトムシなどがない昼間であれば No.1.
- カナブン**  
 樹液があれば多くの場合見ることができる。
- シロテンハナムグリ**  
 カナブンより少し小さい。花も樹液も大好き。
- サトキマダラヒカゲ**  
 チョウなのに花には訪れずに、樹液に集まるよ。
- アカボシゴマダラ**  
 離れた場所からストローを伸ばして樹液を吸うよ。
- コメツキムシ**  
 ひっくり返すとビョンと跳ねるよ。
- ガの仲間**  
**ハエの仲間**

## 活動の紹介

### 6月15日 水辺の自然観察会

町田市と NPO法人鶴見川源流ネットワーク主催のめだか池（高ヶ坂松葉調整池）の生き物調査に参加しました。天気にも恵まれ、約50組の親子が網とバケツを手に池に入り、メダカやモツゴ（クチボソ）などを捕まえました。職員の方から池の魚や水生昆虫の説明を聞き子どもたちはメダカを持ち帰りました。池ではカルガモやバン、カワセミなどの水鳥も観察できます。



#### ● めだか池（高ヶ坂松葉調整池）町田市高ヶ坂 1033

調整池は、大雨が降ったときに一度に川に流れ出てしまわないように、一時的に水を溜めておく防災施設です。大量のメダカとモツゴが生息し、「めだか池」の愛称で親しまれています。

めだか池のお世話（NPO 鶴見川源流ネットワークの活動）

偶数月（2月4月6月8月10月12月）第3日曜日 10:00~12:00

※10月は、かいぼり（池の水を抜くこと） 水が少ないので捕まえやすいかも…

### 7月12日 地域探検・自然観察

身近な自然である東工大構内の加藤山を歩き、昆虫や草花の観察をしました。台風一過の良いお天気で、今回も50組ちかくの大勢の親子が参加しました。

2班に分かれリーダーを先頭に加藤山を歩き、生き物を観察しました。カブトムシ、カナブン、カミキリムシ、オオシオカラトンボなどの他、ヒカゲチョウ、サトキマダラヒカゲ、アオスジアゲハ、クロアゲハ、ツマグロヒョウモン、ベニシジミ、モンシロチョウなどの多くのチョウも見る事ができました。エノキ、クスノキ、サンショウなどのチョウの来る木も観察できました。

順番を待っている子どもたちは、童謡「手のひらを太陽に」を歌い、歌詞に出てくるミミズ、オケラ、アメンボなどの写真を見たり、名前の由来や習性を聞いたりしました。オケラは、実物の観察もできました。



オケラ（幼虫）

### お手紙が届いています。

5月17日の観察会で持ち帰ったアオムシが無事モンシロチョウになったそうです。おめでとう！！写真がHPに届きました。ありがとうございました。

めだか池の観察会で持ち帰ったメダカが卵を産んだというお話も聞きました。ぜひ、赤ちゃんメダカが育ったら、チョウポストまたは、HPにお手紙ください。